

2025 年度 川崎医学会総会議事録

2025 年 9 月 6 日

日時：2025 年 9 月 6 日 12:40～13:10

場所：校舎棟 M-703

1. 会長挨拶(砂田会長)

2. 審議事項

1) 2024 年度決算(塩谷運営委員長)

2024 年度決算について報告され、主として以下の事項について報告・審議・承認された。講演会はコロナ禍以来、開催回数が減少していたが、2024 年度はかなり回復した。サイネージの撤去は教材教具センターの協力により無償で完了した。

2) 2024 年度監査報告(松本監事)

2025 年 5 月 1 日に会計監査が行われ、適正と判断されたことが報告・承認された。

3) 2025 年度予算(案)(塩谷運営委員長)

概ね例年通りの予算案を組むことが提案され、以下の事項について審議・承認された。

- ・KMS メディカルアーク：R7 年度はハイブリッド開催の為、予算を 30 万円→40 万円に増額。
- ・50 周年記念事業：R7 年度は積み立てなしとなり、その分の余剰金を下記の英文校正助成、大学院生出張旅費助成に活用。
- ・英文校正助成：若手支援のための余剰金活用（R7 年度開始、総額 30 万円、1 回上限 3 万円、川崎医学会誌のみ）
- ・大学院生出張旅費助成：若手支援のための余剰金活用（R7 年度開始、総額 100 万円、1 人あたり上限 10 万円、国外開催の国際学会（現地発表のみ）：アジア上限 5 万円（韓国は上限 3 万円）、欧米上限 10 万円）

対象：大学院生（在職大学院生は除く）

- ・研究支援費：研究ニュース WEB 発刊料 3 万 5 千円＋センター費 30 万円分負担（R7 年度より）→35 万円

4) 英文校正終了証明書(塩谷運営委員長)

現在は、和文論文、英文論文ともに英文校正終了証明書の添付が必須であるが、今後は、英文校正を業者に依頼することを必須とはしないが、著者以外の第三者（指導者、教授、AI など）の英文校正は必須とする案について審議・承認された。

3. 報告事項

1) 人事(塩谷運営委員長)

以下の人事が報告された。

副会長【退任】森谷卓也先生

副会長【就任】秋山祐治先生、原 浩貴先生

会計担当【退任】佐々木 環先生、宗 友厚先生

会計担当【就任】向井知之先生、平岡 崇先生

評議員【退任】太田博明先生、片山 浩先生、勝山博信先生、金岡祐司先生、桑原篤憲先生、宗 友厚先生、森本直樹先生、吉田英生先生、Janjua Najma 先生

評議員【就任】秋山祐治先生、太田啓明先生、木村修平先生、小村和正先生、小森正博先生、平岡 崇先生、フジシマナオミ先生

編集委員【就任】伊藤達男先生、上原慎也先生、畝大先生、杉本 研先生、平 成人先生、友田恒一先生、永瀬 聡先生、中村丈洋先生、根石陽二先生、三原雅史先生

2) 2024 年度編集委員会(塩谷編集委員長)

2024 年度秋季編集委員会

日時：2024 年 11 月 8 日（金） 17：30～

場所：医大：別館 6 階大会議室

総合医療センター：操作研修室

【議事】

- ・論文賞の選考方法について
- ・編集委員の選出について
- ・学術著作権協会管理委託契約約款改定に伴う契約変更について
- ・英文校正料助成（業者選定）について
- ・オンライン投稿・査読システム改善について

- ・ 投稿規程の一部変更について
- ・ 論文投稿状況
- ・ A E への依頼状況のご報告
- ・ 機関誌に係る細則の一部変更

2024 年度春季編集委員会

日時：2025 年 3 月 24 日(月) 17：00～

場所：別館 6 階大会議室

総合医療センター5 階会議室 2

【議事】

- ・ 医学会誌論文賞について
- ・ 和文論文の英語抄録に対する英文校正終了証明書について
- ・ 編集委員会人事編集委員の追加選出について
- ・ 投稿規程の改定
- ・ 第 50 巻刊行状況
- ・ A E の査読対応状況
- ・ 論文投稿状況のご報告
- ・ オンライン投稿・査読システム改修状況
- ・ 査読者選定について
- ・ 編集委員への記念品贈呈について

また、任期を終えた編集委員へ記念品を贈呈すること、更に、医学会誌投稿規定の軽微な変更について説明された。

3) 総会評議委員の先生へのご案内・欠席時の委任状(塩谷運営委員長)

本日開催の川崎医学会総会への出欠、及び、欠席の場合の委任状の提出について google フォームにて案内したことが報告された。

4) 学術誌著作権協会管理委託契約約款改定に伴う規約変更 AI 利用(塩谷運営委員長)

昨今の急速な生成 AI の普及に伴い、企業等における AI 利用のニーズが高まっていることから、利用者向け契約の JAC デジタル著作権利用許諾契約 (JAC-DCL) において AI 利用を追加することとなり、これに係る権利を委託することが報告された。

5) 査読システム運用(塩谷編集委員長)

川崎医学会機関誌投稿規程、及び細則に関する変更点について報告された。また、運用が開始されたオンライン査読システムについて説明され、投稿者、査読者双方にとって使い勝手が良くなるように引き続き問題を改善していく方針が示された。また、査読者の選定について、専門の先生が少ない科（精神科学など）では、学内の査読者が限られる。そのため、学外の先生に依頼する場合は、学外査読者について事務局に連絡することによって、査読システム上で査読可能であることが報告された。

6) 刊行状況(塩谷編集委員長)

過去 3 年（2022, 2023, 2024 年）の刊行状況について以下のように報告された。川崎医学会誌（和文誌）：11, 7, 11 本、Kawasaki Medical Journal（英文誌）：21, 11, 12 本、一般教養篇：3, 8, 4 本。2025 年度は現在のところ、川崎医学会誌に 5 本、Kawasaki Medical Journal に 24 本、一般教養篇に 1 本の論文が査読中を含めて投稿されており、特に英語論文の投稿が大幅に増えており、順調に推移している。

7) 川崎医会講演会(塩谷運営委員長)

(1) 2024 年実施状況

計 27 回の講演会（学外講演者 19 回、学内講演者 8 回【全て新任教授講演会】）が行われ、コロナ禍以来の開催数減少が回復してきたことが報告された。また、主催教室が偏らないように一教室当たりの開催回数上限を年間 2 回とすることが報告された。

(2) 2025 年度実施・実施予定・新任教授講演会
現時点で学外講演者 9 回（開催済 7 回、開催予定 2 回）、開催予定の学内講演者 6 回【全て新任教授講演会】であることが報告された。

4. 川崎医学会論文賞 授賞式(砂田学長)

【研究奨励賞】大学・研究委員会より

石丸 浩靖 先生

Sweat protects against contact hypersensitivity:
Transient sweat suppression compromises skin

barrier function in mice.

文責：庶務 橋本

Journal of Investigative Dermatology.

【論文賞】医学会・編集委員会より

釋舎 竜司 先生

当院における胃粘膜関連リンパ組織型節外性辺
縁帯リンパ腫に対する放射線治療成績, ならびに
放射性肝障害と腎症のリスク因子の検討

川崎医学会誌 50 巻

齋藤 渉 先生

Preliminary study for predictive indicators focused
on semen analysis of inflammation for male
infertility.

Kawasaki Medical Journal 50 巻

医学会誌論文賞の 2 名に対して、授賞式が行われ
た。

5. 川崎医学会 50 周年記念論文賞(長洲委員)

50 周年記念事業として、本学の研究発展への貢
献が期待できる本学研究者の論文(インパクトフ
ァクター (IF) 8 以上の査読付論文)として本年
度は下記論文が選定された。また、対象者を「筆
頭著者または責任著者」とすることが報告された。

責任著者：城所 研吾 先生

Yoshihisa Wada · Kengo Kidokoro · Megumi Kondo ·
Atsuyuki Tokuyama · Hiroyuki Kadoya · Hajime
Nagasu · Eiichiro Kanda · Tamaki Sasaki · David Z.I.
Cherney · Naoki Kashihara

Evaluation of glomerular hemodynamic changes by
sodium-glucose-transporter 2 inhibition in type 2
diabetic rats using in vivo imaging

Kidney International, Volume 106, Issue 3, 408 - 418

インパクトファクター：12.6

6. 川崎医学会 50 周年記念功労賞(長洲委員)

長年にわたり川崎医学会への発展に寄与され、多
大なる功績を収められた福永仁夫先生を功労賞
として表彰し、授賞式が行われた。砂田学長より
賞状と賞金、表彰盾が授与された。